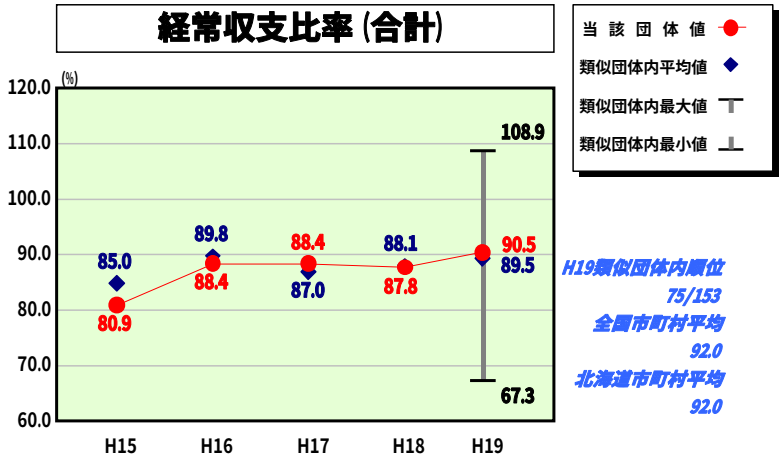


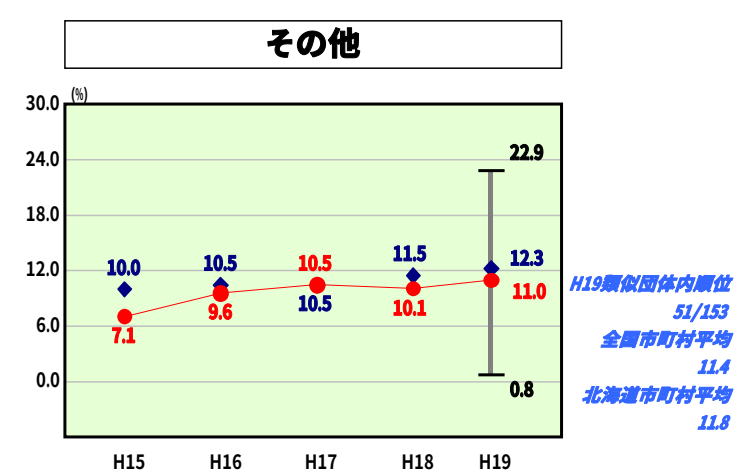
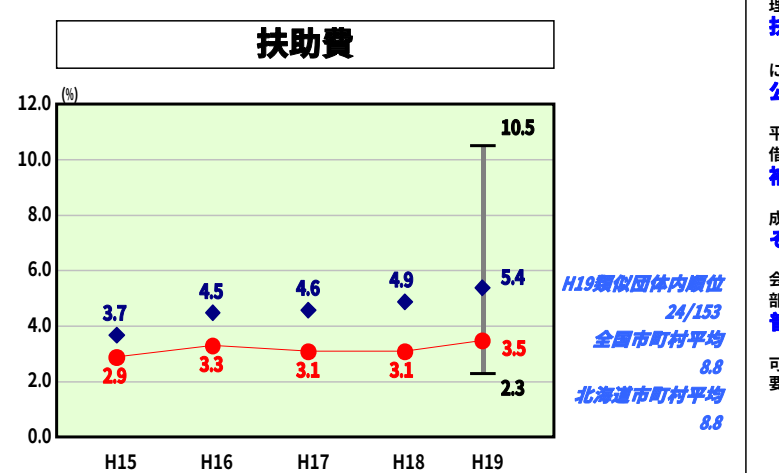
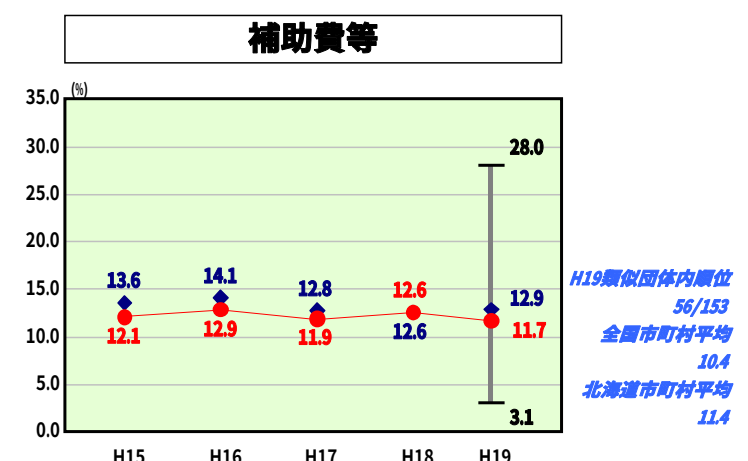
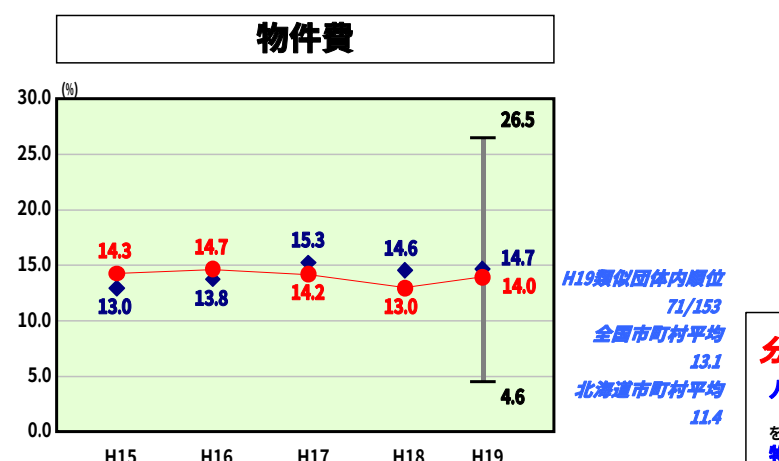
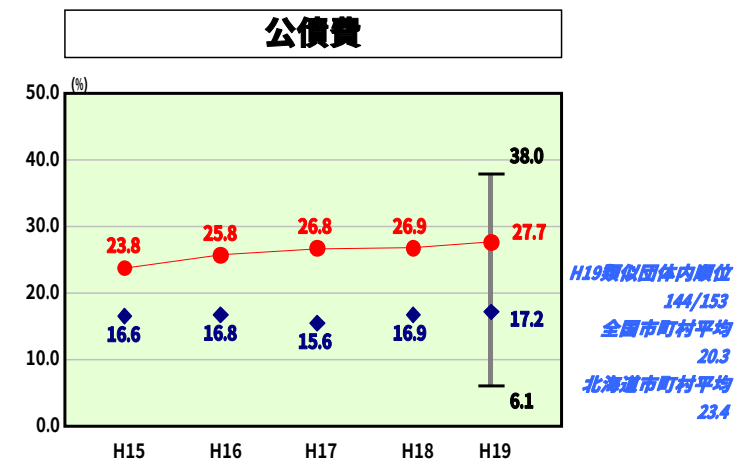
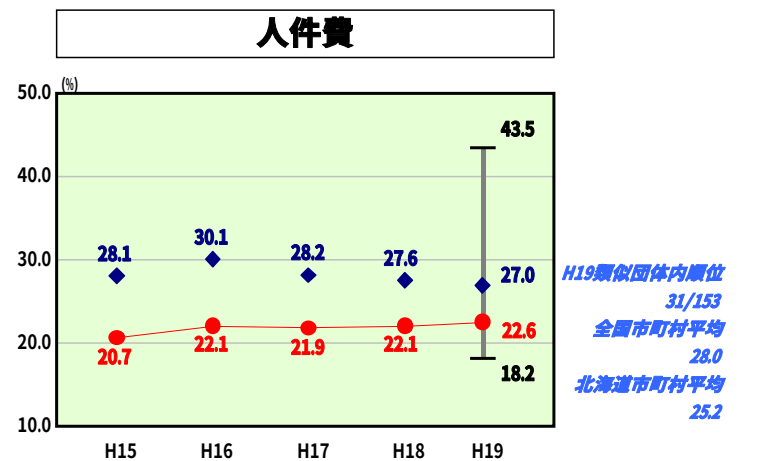
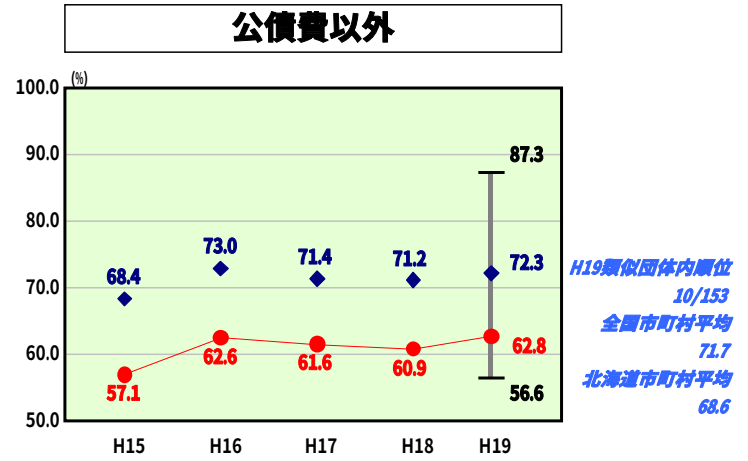
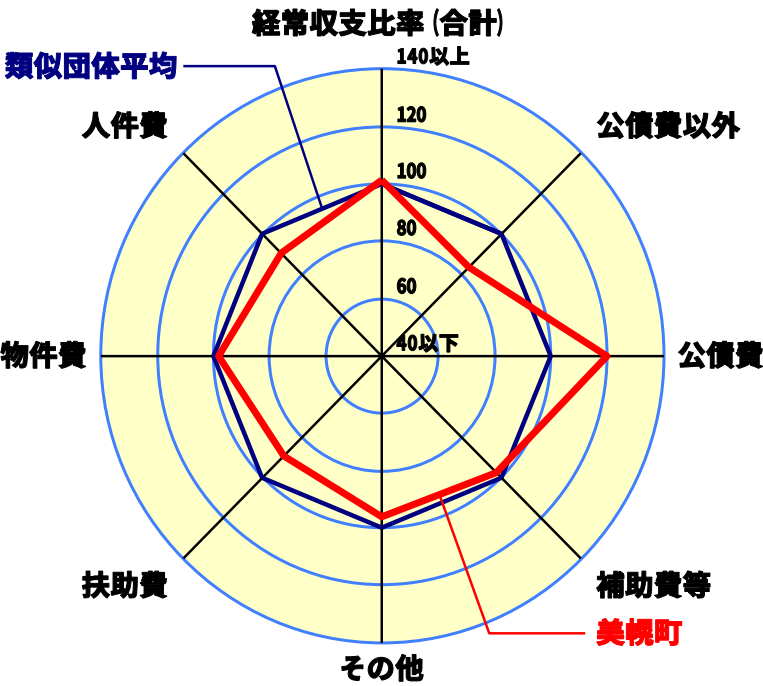
歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

北海道 美幌町

経常収支比率の分析



人口	22,384 人(H20.3.31現在)
面積	438.36 km ²
歳入総額	9,816,392 千円
歳出総額	9,740,862 千円
実質収支	75,530 千円



※ 1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)

2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。

3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

人件費
平成11年度から定員管理の適正化を強力に推し進め、あわせて平成18年度からは給与構造の見直しを実施した結果、類似団体平均を大きく下回っている。今後も管理職手当の定額化などを含めた人件費関係経費全体の抑制に努める。

物件費
財政運営計画に基づきゼロベースの視点に立って全ての事務事業を見直してきた結果、平成16年度から減少している。今後も内部管理経費の徹底した削減と効率的な執行の他、公共施設の廃止、休止の検討や管理運営の見直しを進める。

扶助費
高齢化社会の進展により平成16年度までは増加していたが、給付事業全般を検証して所得制限の設定など精査した結果、上昇傾向に歯止めをかけることができた。今後も水準の適切性や効果を検証し、よりサービスの効果を高めることとする。

公債費
累次にわたる景気対策のための公共事業の追加に係る町債の増発により、公債費負担が類似団体平均を大きく上回っている。今後も平成17年度に策定した公債費負担適正化計画に基づき、普通建設事業の厳選による新発債の発行抑制や繰上償還、低利の資金への借替などを行い負担の抑制に努める。

補助費等
全ての補助金、負担金に対して再点検・再評価を行っており、今後も引き続き交付基準の明確化など適正化策を進めていく。なお、平成18年度は国営土地改良事業負担金の繰上償還の実施により比率が上昇した。

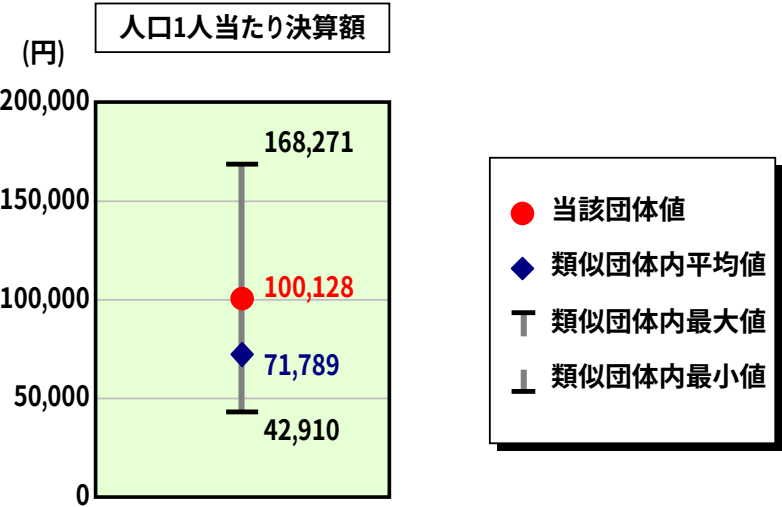
その他
維持補修費については、施設の老朽化により支出が増大している。繰出金についても高齢化の進展による老人保健や介護保険特別会計への繰出、下水道特別会計への赤字補てん分の繰出が支出増加の要因である。今後も施設の定期的な維持補修や特別会計の内部経費節減などによる健全化策を推し進め、普通会計の負担額を減らしていくよう努める。

普通建設事業費
国の経済対策などに対応しつつ各種基盤整備に積極的に取り組んできた。このことが大きな要因となり実質公債比率は2.0、4%と許可団体となる基準を超えている。実質公債比率については年々減少しているが、今後も今まで以上に普通建設事業費を抑制していく必要がある。

歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

北海道 美幌町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析

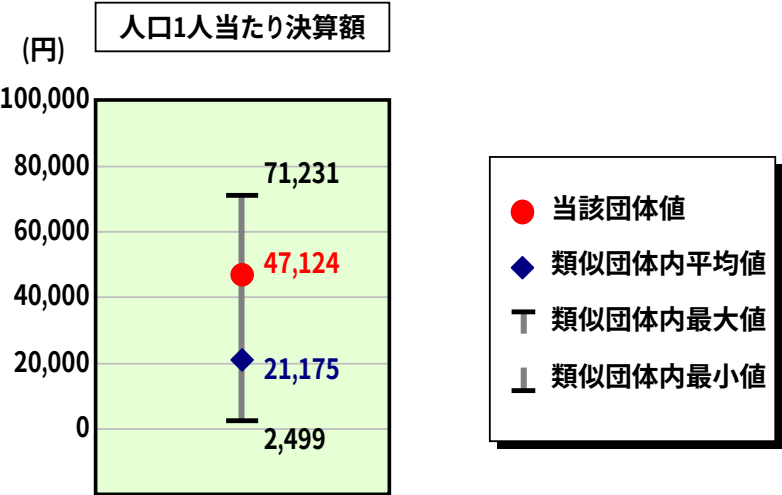


人件費及び人件費に準ずる費用	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	1,581,325	70,645	61,566	14.7
賃金 (物件費)	305,553	13,651	4,205	224.6
一部事務組合負担金 (補助費等)	440,564	19,682	7,620	158.3
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	29,904	1,336	143	834.3
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	36,039	1,610	2,851	▲ 43.5
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	13,677	611	1,227	▲ 50.2
▲退職金	▲ 165,803	▲ 7,407	▲ 5,824	27.2
合計	2,241,259	100,128	71,789	39.5

参考			
	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	7.91	7.02	0.89
ラスパイレス指数	97.4	95.6	1.8

ラスパイレス指数及び職員数に係る項目については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである (以降の項目について同じ。)。
なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目を「-」としている。

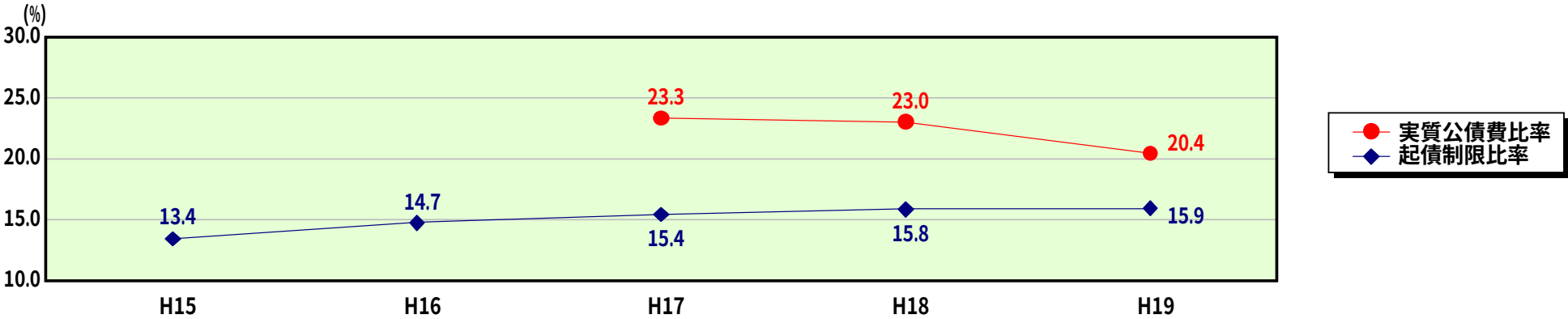
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	1,705,791	76,206	32,851	132.0
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額) 等	-	-	9	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	444,977	19,879	10,088	97.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	6,495	290	3,876	▲ 92.5
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	65,873	2,943	1,484	98.3
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	16	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,168,306	▲ 52,194	▲ 27,148	92.3
合計	1,054,830	47,124	21,175	122.5

平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、「-」としている (以降の項目について同じ。)。

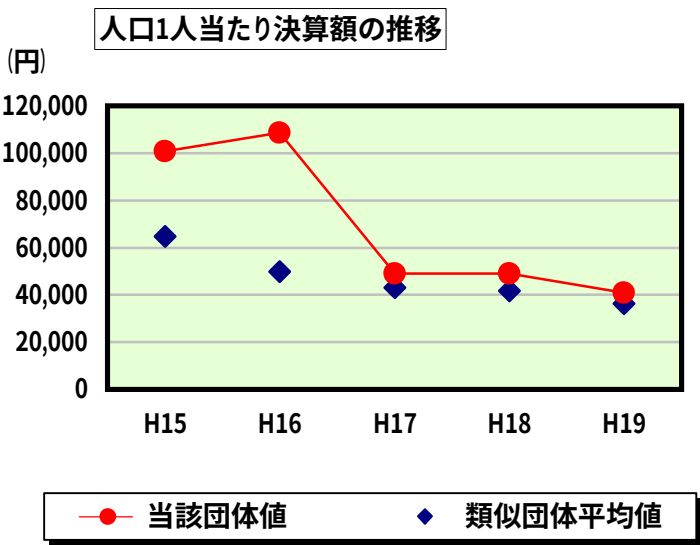
※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

北海道 美幌町

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A) - (B)
H15	2,340,271	100,856	▲ 6.7	64,853	▲ 1.7	▲ 5.0
うち単独分	880,986	37,967	2.3	37,599	▲ 4.8	7.1
H16	2,488,977	108,490	7.6	49,917	▲ 23.0	30.6
うち単独分	1,050,159	45,775	20.6	30,509	▲ 18.9	39.5
H17	1,122,273	48,937	▲ 54.9	42,971	▲ 13.9	▲ 41.0
うち単独分	294,568	12,845	▲ 71.9	27,006	▲ 11.5	▲ 60.4
H18	1,113,229	49,143	0.4	41,759	▲ 2.8	3.2
うち単独分	278,271	12,284	▲ 4.4	25,833	▲ 4.3	▲ 0.1
H19	918,581	41,037	▲ 16.5	36,358	▲ 12.9	▲ 3.6
うち単独分	313,341	13,998	14.0	21,039	▲ 18.6	32.6
過去5年間平均	1,596,666	69,693	▲ 14.0	47,172	▲ 10.9	▲ 3.1
うち単独分	563,465	24,574	▲ 7.9	28,397	▲ 11.6	3.7